



荏原
浅見社長

渡航制限で産業用ポンプなどの据え付けに日本から海外の顧客へ技術者を派遣できない状態が続きそうだ。保守やトラブル対応に人手が回らなければ収益に影響する

新型コロナウイルスの影響で設備メーカーは据え付けや整備を海外で一貫して行う必要性が増している。荏原の浅見正男社長は「海外の人員を増やすとともに、日本から遠隔で管理できるシステムを強化する」とし、IT（情報技術）化を前倒しで進める。